

地域における支え合いづくり (東吉野村)



- 高齢化率48.5%、独居高齢世帯割合も高く、山間地域であり、医療・介護サービス以外の見守り支援や生活の支援が必要となっている。
- 孤立化・閉じこもりの防止
- 人とのかかわり、交流の重要性



地域における支え合い・まちづくりへ

見守り支援

認知症高齢者サポート養成講座

「認知症高齢者の見守り支援を行なう地域サポーター養成講座」

受講者：民生委員・議会議員・区長会・人権擁護委員・消防団分団長
・高齢者学級生・小学校5年生・中学校2年生(小中学校は継続実施)

ふれあい郵便事業

地域の方との交流する機会づくりおよび、郵便局員の協力による手紙の手渡しによる安否確認

緊急医療情報キット配布



いきがづくり

高齢者へのお弁当配食サービス

地産地消を活かした健康食を毎月第2火曜日・水曜日の2日間 (1食500円)で提供



閉じこもり予防

高齢者いきいきサロン

- ・ 全村(19ヶ大字)において民生委員や、老人クラブ等が中心になって月一回地域の公民館等に集いゲーム・体操をしながら高齢者の健康作り閉じこもり防止等を考慮しつつ地域住民同士の交流拠点を展開

交流





(奈良県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	東吉野村
②人口（※1）	2210人 (H25.3月末)
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 48.5% 75歳以上 31.4% ()
① 取組の概要	地域における支え合いづくり
⑤取組の特徴	見守り支援として、認知症高齢者サポーター養成講座・ふれあい郵便事業・緊急医療情報キットの配布 いきがづくりとして、高齢者のお弁当配食サービス 閉じこもり予防・交流について、高齢者いきいきサロンの実施
⑥開始年度	平成5年度
⑦取組のこれまでの経緯	高齢化率が年々増加し、又独居高齢者世帯・二人世帯が増え山間地域でもあり、医療・介護サービス以外の見守り支援や、生活の支援が必要となってきたため、孤立化・閉じこもりの防止及び人との関わり・交流の重要性を考え実施
⑧主な利用者と人数	村内の高齢者
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	住民福祉課(包括支援センター)・社会福祉協議会・ボランティア
⑩市区町村の関与(支援等)(※2)	
⑪国・都道府県の関与(支援等)(※3)	地域の居場所づくり推進事業・在宅福祉事業
⑫取組の課題	ボランティアの高齢化
⑬今後の取組予定	継続
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	住民福祉課 0746-42-0441

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

